### 指定管理者モニタリングレポート (令和6年度)

作成日 令和7年5月14日

施 設 名	中之島公園(リバーポートパーク美濃加茂)					
所 在 地	岐阜県美濃加茂市御門町2丁目6番6号					
指 定 管 理 者	名 称 中之島公園利活用共同体 代表者 水口 晶 住 所 岐阜県美濃加茂市御門町2丁目6番6号					
指定期間·選定方法	令和 5 年 4 月 1 日から令和 12 年 3 月 31 日まで					
モニタリング の 実施方法等	対面					
担 当 課 (問合せ先)	美濃加茂市役所 土木課					

#### モニタリングの総合結果及び業務改善に向けた方針

- ・コロナによる行動制限がなくなり利用者数は過去最多となった。各自主事業ではアルバイトの人員配置や長く働いてもらえる環境整備、仕入先の見直しなど業務の改善を引続き行っていく。
- ・バスケットゴールの管理が新たに始まり、若い年齢の客層が来園するようになった。バスケットゴール内で落書き 等、保全や警備の課題が出たため防犯カメラの増設等対策を検討していく。
- ・市民団体と連携を図りイベントを実施した。音楽フェスの開催に協力した。
- ・自主事業について、イルミネーションやドッグランを設置し、新たな切り口で集客を試みたが、昨年同様冬の集客が課題となっている。

#### ①経営分析に関すること

#### 【自主事業】

BBQ:夏季営業は集客もよくなってきたが冬季営業がかなり苦戦した。令和7年度も冬季営業に向けた対策を行い、集客力を上げていく。

【中之島公園利活用共同体事業】

・事業費の支出が計画より多い結果となった。不足分(200万程)は自主事業の利益より捻出した。

### ②事業計画・実施事業に関すること

・BBQ講座、ウォーキングのイベントが実施できなかったが、ドックランの設置、イルミネーション等計画になかった
事業を実施した。

#### ③経理に関すること

・会計管理体制については適正に実施されている。

#### ④施設管理に関すること

- ・河川の増水など大きな災害もなく 1 年を終えることができたが、施設内で落書き等、保全や警備の課題が出た。他施設の対策事例や防犯カメラの増設等検討が必要。
- ・日々の施設点検の結果から細かな修繕で対応できているため今後も継続的に実施していく。

#### ⑤サービスに関すること

・ドッグラン利用者から第二駐車場についても毎朝開錠してほしいという要望があったため、常時開門するようにする等ドッグランや BBQ などについての改善要望に複数対応した。

#### ⑥その他

・音について木曽川左岸側からの苦情が多数発生したことから、市内だけでなく可児市側への周知などの対応を実施していく。

#### <施設担当課>

# 指定管理者 期末モニタリング チェックリスト(R6 年度)

<mark>総合評価</mark> A

<u>実施日 令和7年5月14日</u> 担当課 土木課

対象施設	中之島公園	選定方法	公募· <del>非公募(任意指定)</del>					
設置目的	木曽川の自然を保全しつつ、人々が水辺や森など公園周辺の自然に親しむ場として、また、 街を散策する際の拠点として、憩いと集いの空間を提供する施設。							
指定管理者名	中之島公園利活用共同体	指定期間	2023.04.01~2030.03.31					

<u> </u>	総括 B		R2年度	R3年度	R4年度	R5 年度	令和6年度	評価
	<b>事</b> **	四十(四)	14,890,145	11,181,223	19,802,769	9,762,937	20,888,013	۸
事業収支(円)		拟文(口)	(粗利)	(粗利)	(粗利)	(粗利)	(粗利)	А
1	利用料	l金比率(%)	0.54%	0.56%	0.84%	0.86%	0.87%	В
経	経 人件費比率(%)		37.96%	35.33%	39.20%	37.99%	36.29%	В
	外部委託	託費比率(%)	1.01%	1.12%	1.15%	1.45%	0.76%	Α
分析	「小田田・ハコルツ」		765 円	633 円	408円	621円	503 円	В
	利用者1人当たりの 市負担コスト(円)		140円	123円	89 円	108円	112円	В
		㎡当たりの 者数(人)	80 人	91 人	130 人	129 人	134 人	В

<sup>※</sup>上記の経営分析については、過去の実績や類似施設と比較して評価する(優良:A、良好:B、問題有:C、要改善:D)

25	実施事業に関すること	総括	Α	一次 評価	評価理由等
1	1 施設の設置目的に沿った事業を実施したか。目標を達成したか				来園者数の目標は達成できた。BBQ講座、ウォーキングのイベントが実施できなかったが、ドックランの設置、イルミネーション等計画になかった事業を実施した。
2	収支計画との整合性はあったか			А	事業費の支出が計画より多い結果となった。不足分は自主事業の利益より捻出した。
3	開館時間、休館日は適正に守られていたか			В	適正に運営できている。
4	資格者の人員配置など職員体制が適正に 整えられていたか			В	適正に整えている。
5	公共性・公平性が保たれて	ていたか		В	公共性・公平性は保たれていた。
6	改善指示事項や要望が事業に反映されて いたか			Α	改善指示や要望は事業に反映されている。
7	自主事業は適正に実施されていたか			А	イルミネーションやドッグランを設置し、新たな切り口で 集客を試みたが、昨年同様冬の集客には苦戦を強い られている。

3	経理に関すること	総括	В	一次 評価	評価理由等
1	1 指定管理業務に係る固有の銀行口座が 適正に管理されていたか			В	適正に管理されている。
2	協定に基づいた支出が適正に行われたか			А	事業費の支出が多い結果となった。不足分は自主事業の利益より捻出した。

3	指定管理業務と自主事業の会計が明確に 区分して管理されていたか	В	明確に区分して管理されている。
4	帳簿が適正に記載・管理されていたか	В	適正に記載・管理されている。
5	帳簿を適正に記載・管理する体制が整え られていたか	В	帳簿にて管理されている。
6	現金は適正に管理されていたか	Α	鍵付きのロッカー、金庫にて保管されている。 高額な現金は置かないこととしている。

<b>4</b> )	施設管理に関すること	総括	А	一次 評価	評価理由等
1	保守点検・検査・修繕は適正に実施されたか				尿石取りを詰まってからの対応ではなく、定期的な清 掃に切り替えた。
2	清掃は確実に行われたか			Α	R5 から回数を増やし、清掃を確実に実施した。
3	マスターキー等の管理体制は十分であったか			А	キーボックスにて管理されている。
4	緊急時の連絡体制は整えられていたか			Α	LINEグループを活用するなどして整えている。
5	避難経路の安全性は確保されていたか			А	年2回(令和6年11月25日、令和7年3月17日)の防災訓練時にスタッフに共有している。
6	備品は適切に管理されていたか			В	備品シールを貼り、適切に管理されている。
7	駐車場の保全・管理、施 切に行われていたか	設の警備	請等は適	В	適切に行っていた。

<b>5</b> +	サービスに関すること	総括	А	一次 評価	評価理由等
1	利用時間の延長など具体 上や稼働率等の向上に取			А	バスケットゴールの管理が新たに始まり、若い年齢層 が来園するようになった。
2	苦情等の処理は適正かつ か	迅速に行	うわれた	Α	アンケートを取り、苦情には早急に対応するようにしている。
3	苦情等の処理に関する書類は適正に整 備・管理されていたか			А	アンケートを集計し、データで保存している。
4	ホームページ等でのPRは適正に行われた か			А	HP、ブログ、FB、インスタ、LINE、X、Googleを利用し、PRを行っている。インスタのフォロワーは 10000 人を超えた。
5	セルフモニタリングは適正に行われたか			В	適正に行われている。
6	利用者アンケートの結果をサービスの向上 にいかしたか			Α	隔週でミーティングを行いアンケートの内容なども精 査している。
7	サービス向上のために職員研修等を実施したか。接客態度に問題はなかったか			А	アンケートにてスタッフの対応の良さについて高評価 をいただいている。
8	経費縮減・費用対効果の 小化)を図る取組みを実施		費用の最	А	仕入先を可能な限り安価なところから仕入れるよう努力している。

6-	その他	総括	А	一次 評価	評価理由等
1	施設の管理に係る情報の 開は適正に行われたか	り管理や	情報公	А	視察対応に協力し、情報を共有されていた。
2	個人情報が適正に利用・ か	管理され	れていた	В	適正に管理されていた。
3	環境に配慮した事業を推議	進したか		А	年末に川の清掃活動を実施した。

4	業務実施に必要な保険に加入していたか	В	必要な保険に加入している。
5	利用者及び職員の安全管理に関する体制・仕組みが適切に整えられていたか	В	安全第一を基本としている。
6	労働法令を遵守し、雇用・労働条件への 適切な配慮がされていたか	В	適切な配慮ができているが、管理職は課題。
7	地域との連携・協働は図られたか。 まちづく りに配慮した事業を推進したか	А	市民団体と連携を図りイベントを実施した。
8	市と連絡を密にしていたか	А	担当者との連絡は密に行っている。 毎月報告書を提出している。

#### ●経営分析の指標と評価の考え方

評価指標	計算方法	評価の考え方
◆事業収支(円)	収入一支出	事業全体が黒字であるかを確認。赤字の場合、 管理継続性の面で課題となるため、市及び指定 管理者で黒字転換に向けた協議が必要である。
◆利用料金比率(%)	利用料金収入/収入×100	収入に占める利用料金の割合。指定管理者の主 たる収入源がどこにあり、それが安定したものであ るかを評価できる。
◆人件費比率(%)	人件費/支出×100	支出に占める人件費の割合。支出の中で人件費 が高すぎないか、抑制しすぎていないかを評価できる。
◆外部委託比率(%)	外部委託費合計/支出×100	支出に占める外部委託費の割合。外部委託に委任しすぎていないか評価できる。
◆利用者1人当たりの 管理運営コスト(円)	支出/延利用者数	利用者1人当たりに対する管理運営コストが適正であるかを確認。前年度との比較、類似施設との比較などにより効率性を評価できる。
◆利用者1人当たりの 市負担コスト(円)	市の支出/延利用者数	利用者1人当たりに対する市負担コストが適正であるかを確認。前年度との比較、類似施設との比較などにより効率性を評価できる。
◆施設1㎡当たりの 利用者数(人)	延利用者数/延床面積	施設1㎡当たりの利用者数を確認。利用者に対して施設の大きさが適当か、類似施設との比較により効率性を評価できる。

<sup>※</sup>過去の実績や類似施設と比較して評価する(優良:A、良好:B、問題有:C、要改善:D)

#### ●評価の判定基準

A(優 良)= 協定書、仕様書等の内容を遵守し、定めた水準よりも優れている B(良 好)= 協定書、仕様書等の内容を遵守し、定めた水準に達している C(課題有)= 協定書、仕様書等の内容を遵守しているが、一部課題がある D(要改善)= 協定書、仕様書等の内容を遵守しておらず、早急な改善が必要である

② 総 括	A(優 良)= 一次評価がすべてB以上であり、かつAが半数以上である B(良 好)= 一次評価がすべてC以上であり、かつABが半数以上である C(課題有)= 一次評価がすべてC以上であり、かつABが半数未満である D(要改善)= 一次評価にDが含まれている
③ 総合評価	A(優 良)= 総括がすべてB以上であり、かつAが半数以上である B(良 好)= 総括がすべてB以上であり、かつAが半数未満である C(課題有)= 総括がすべてC以上であり、かつCが含まれている D(要改善)= 総括にDが含まれている

# 指定管理者管理運営状況調書

## 1. 指定管理者・施設の基本情報

令和 7 年5月14日

指定管理者名	中之島公園利活用共同体 担当課 土木課							
指定期間	2023.04.01~2030.03.31	)30.03.31 <b>選定方法</b> 公募· <del>非公募(任)</del>						
施設名	中之島公園	<b>施設の種類</b> 都市公園						
所在地	美濃加茂市御門町 2-6-6							
設置根拠条例等	美濃加茂市都市公園条例							
設置目的·役割	木曽川の自然を保全しつつ、人々が水辺や森など公園周辺の自然に親しむ場として、また、街を散策する際の拠点として、憩いと集いの空間を提供する施設。							
実施事業	指定管理(園地及び施設等運営業務・維持管理業務・自主事業〈カフェ、BBQ、川のアクティビティー〉・その他の業務)							

### 2. 施設の概要

土	敷地面積		29,476.56 m				180 台			
地	内借地面積	0 m²	契約期間			借地料				
	設置形態	市所有 賃貸借	契約期間			賃借料				
	建物の内容		目然環境体験学習館(ビジターハウス)、手洗い兼倉庫、多目的倉庫(ホワイトドック)、 マヤワールーム、屋外トイレ等							
	主要な建物の 建築年月	20	18.03		取得 時期	2018.03				
	延床面積	1,	384.08 m²	構造	木	造	階数	2階建		
建物	耐震基準	総合耐震計画 基準 Ⅱ類	耐震 診断	I	耐震 補強	ı	ls值	_		
	ユニバーサル デザイン化	実施 <del>一部実施</del>	エレベーター	スロープ	自動ドア	手すり	障がい者 用トイレ	その他		
	状況	未実施	<del>有</del> ·無	有· <del>無</del>	有· <del>無</del>	有· <del>無</del>	<del>有</del> ·無			
	大規模修繕 実施状況	なし								
	留意事項		なし							

# 3. 管理·運営の現況

開館日数	310 ⊟	休館日	毎週火	曜日	開館時間	9:00~17:00
職員数等	統打	舌管理責任	者 1名	企画·	庶務担当者	1名
管理体制	受	付案内担当	者 1名	維持	管理スタッフ	2名

# 4. 施設の維持管理コスト等

	(単	位:円)	令和2年度	令和3年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和6年度
		支出合計	15,550,834	16,162,962	16,863,945	19,315,500	20,900,037
		人件費					
市	支	修繕料·工事請負費	50,000	710,000	882,000	324,500	2,421,037
の	出出	光熱水費					
収	E	委託費·指定管理料	15,500,834	15,452,962	15,981,945	18,991,000	18,479,000
支		賃借料					
状		その他					
況		収入合計	2,378,400	2,378,400	2,378,400	2,378,400	2,389,920
	収	使用料·手数料	2,378,400	2,378,400	2,378,400	2,378,400	2,389,920
	入	その他業務収益					
		業務関連収益					
	(単位:円)		令和2年度	令和3年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
		支出総合計(a+b)	84,422,407	79,744,271	86,627,286	101,803,488	93,643,874
		支出合計(a)	17,675,859	17,476,791	19,259,450	21,287,523	21,624,336
指		人件費	6,506,495	6,691,955	7,147,510	9,435,193	8,542,500
定	支	事業費	459,306	616,127	644,572	1,252,325	1,577,201
管	出	維持補修費	5,044,885	4,828,667	5,078,149	4,892,715	5,188,437
理	Щ	光熱水費	2,961,870	2,753,602	3,692,808	3,132,986	3,378,350
者		保守点検等委託費	849,200	891,330	849,860	621,280	691,900
の		その他	1,854,103	1,695,110	1,846,551	1,953,024	2,245,948
収		自主事業支出(b)	66,746,548	62,267,480	67,367,836	80,515,965	72,019,538
支		収入総合計(c+d)	99,312,569	90,925,494	106,430,055	111,566,425	114,531,885
状		収入合計(c)	16,058,619	15,959,492	17,150,763	21,287,523	19,669,021
況	収	指定管理料	15,500,834	15,452,962	15,981,945	18,991,000	18,479,000
	入	利用料金	536,400	497,300	1,168,790	959,800	1,000,800
		その他	21,385	9,230	28	1,336,723	2,189,221
		自主事業収入(d)	83,253,950	74,966,002	89,279,292	90,278,902	92,862,864

## 5. 施設の利用状況

		令和 2 年度	令和	13年度	令和 4	年度	令和	5年度		令和6年度
Ī	開館日数	271 日(176 日:貸ホール開 館日数)	307 E 日:貸オ 館日数	ール開	30	)9 日		309 ⊟		310 日
年	間来場者数	110,386 人	125	5,898 人	180,43	85 人	179	,028人		186,145 人
ホー	-ル利用件数	136 件		214 件	33	32 件		358 件		403 件
ホー	-ル利用者数	1,194 人	1	,832 人	2,8	9人	4	,554 人		7,841 人
シヤ	ワー利用者数	1,546 人		927 人	1,9	58 人	1	,797人		1,571 人
部	名称	大ホール			平日		28.0%	土日初	5	57.6%
屋	午前	46.5%	午後	34.8%	夜間		%	ila	+	39.2%
別	名称	小ホール			平日		8.9%	土日初	5	39.5%

稼	午前	21.7%	午後	19.7%	夜間	%	計	20.4%
働	名称				平日	%	土日祝	%
率	午前	%	午後	%	夜間	%	計	%

### 6. 事業の実施状況

♥. ₹	未の天心仏	<i>/</i> /U								
	事業名	BBQ	利用者数等	10,198 人						
	事業内容	食材提供型スマートバーベキュースタイル	ンを採用したサーb	ごス提供、早川青果さんから地						
		元の新鮮な野菜や、SUMPO さんからこだわりの野菜など地域ブランドを積極的に取り入れ								
		発信している。								
	事業名	アクティビティ	利用者数等	2,097 人						
事	事業内容	ラフティング、カヌー、SUP など木曽川での	ラフティング、カヌー、SUP など木曽川での体験プログラムを実施							
業	事業名	カフェ(DELTA)	利用者数等	15,236 件 34,515 品目						
の	= 416 -1	50cm のピザを目玉にしたカフェサービスを提供、コクウコーヒーの豆を使うなど、新たな地								
実	事業内容	域ブランドの発信に貢献。お客様のニーズ	ニューを更新・追加している。							
施	事業名	リバポフィットネス	利用者数等	174 件 796 人						
状況	事業内容	フィットネスに関する教室等を精力的に推っ	進。							
	事業名	各種イベント	利用者数等	79,974 人						
	***	地域団体と関連したイベントを実施しており、まちづくりの一翼を担っている。他のイベントに								
	事業内容	も準備片付け、交通整理等協力的な対応	をしており、イベン	<b>小の増加に貢献している。</b>						
	事業名		利用者数等							
	事業内容									
4	寺記事項									

# 7. 指定管理者制度導入・更新前後の比較

項目	結果·詳細
サービス面	民間の知恵と工夫により、来場者に質の高いサービスの提供が出来ている。
コスト面	通常の維持管理コストに比べて低い価格で、適正な維持管理がなされている。
利用者数·稼働率	年間来場者数については、186, 145 人の来場者となった。R5 年度は 179, 028 人であったため、昨年度より増加している。
事業実施状況	計画通り事業を実施している。
地域との協働等	地域団体、地域住民と連携したイベントなど、各種取り組が実施されている。
その他	季節ごとの設えや、SNS 等を利用し情報発信に力を入れており、ファミリー層や女性を中心に多くの来場者で大変賑わっている。